

時折ユーモアを交えながら参加者に向けて助言する平田さん(左手前)



公募40人15分の寸劇に挑戦

平田オリザさん講師 ワークショップ

早良区

稽古の集大成 22日発表会

劇作家の平田オリザさんが講師を務める演劇作りワークショップの発表会が22日午後1時から、福岡市早良区の早良市民センターホールで開かれる。一般公募で集まった中学生から社会人までの参加者約40人が、7月から平田さんの指導を受け、15分の寸劇作りに挑戦。発表に向けて稽古に励んでいる。

ふくおか教育を考え

る会協議会を中心に、来年3月末まで展開する事業子どもたちが、演劇を通じてコミュニケーションやプレゼンを学ぶ」の一環。

9月初旬の日曜、平田さんによるグループ別の指導があった。寸劇の題材は「多重婚」や「不登校」とさまざま。演劇初心者が大半の参加者はいきいきと演じたが、台本作りに苦労している様子も。

平田さんは「問題が曖昧になっていきますね。今のままでは伝わらない」などと助言した。

同協議会会長の多田育美さん(49)＝筑紫野市＝は「作ってみると大変で、思考の転換が必要になる。作っていく過程が楽しくて参加者が仲間になった感じがです」。平田さんは「演劇は、私たちを苦しめているものは何かを明

確にすること。今は格差、思想などで社会が分断されている。異なる考えを持つ人たちと話し合うプロセスを形成していくことが必要です」と語った。

22日は劇発表後、午後3時から平田さんの講演会もある。入場料は一般1500円、18歳以下1000円(当日いずれも500円増し)。問い合わせは同協議会の電話092・406・4125、またはメールkyoiku-co@gmail.comへ。

【山崎あずさ】